

## 「(仮称)マンガの聖地としまミュージアム 新築工事請負契約について」などを可決



(仮称) マンガの聖地としまミュージアムイメージ  
※トキワ荘の外観に加え、玄関、階段、共同炊事場、  
便所、マンガ家の居室を再現したマンガ・アニメ  
ミュージアムを2020年3月整備予定。(南長崎花  
咲公園内・南長崎三丁目9番22号)

平成30年第4回定例会は、11月20日から12月10日までの21日間にわたって開会されました。

今定例会では、各会派議員による一般質問が行われたほか、区長提出議案16件を可決、議員提出議案は1件を可決しました。

陳情は、1件を採択、3件を閉会中の継続審査としました。

### 可決した意見書等 (要旨)

#### 固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続を求める意見書

青色申告者を含む小規模事業者を取り巻く環境は、長期的な景気の低迷に続き、世界規模の経済状況の悪化により危機的かつ深刻な状況にあり、また、雇用不安の拡大、金融事情の悪化後継者不足など、様々な危機にさらされている。

このような社会経済環境の中で、小規模事業者は厳しい経営を強いられ、家族を含めてその生活基盤は圧迫され続けている現状にある。

また、小規模事業者のみならず多くの都民が、税や社会保障費などの負担の増加にあえいでいる実態にある。

このような中で、東京都においては次の軽減措置がとられ、多くの小規模事業者等がその適用を受けている。

(1) 小規模住宅用地に対する都市計画税を2分の1とする軽減措置は、都民の定住確保と地価高騰に伴う負担の緩和を目的として昭和63年度に創設されて以来、多くの小規模事業者と都民が適用を受けている。

(2) 小規模非住宅用地に対する固定資産税及び都市計画税を2割減額する減免措置は、過重な負担の緩和と中小企業の支援を目的として平成14年度に創設されて以来、多くの小規模事業者と都民が適用を受けている。

(3) 商業地等における固定資産税及び都市計画税について負担水準の上限を65%に引き下げる減額措置は、負担水準の不均衡の是正と過重な負担の緩和を目的として、平成17年度に創設されて以来、多くの小規模事業者と都民が適用を受けている。

この厳しい環境下において、都独自の施策として定着しているこれらの軽減措置が廃止されることとなると、小規模事業者の経営や都民の生活は更に厳しいものになり、ひいては地域社会の活性化のみならず、日本経済の回復に大きな影響を及ぼすことにもなりかねない。

よって、豊島区議会は、東京都に対し、次の事項について強く要望する。

- 1 小規模住宅用地に対する都市計画税を2分の1とする軽減措置を、平成31年度以後も継続すること。
  - 2 小規模非住宅用地に対する固定資産税及び都市計画税を2割減額する減免措置を、平成31年度以後も継続すること。
  - 3 商業地等における固定資産税及び都市計画税について負担水準の上限を65%に引き下げる減額措置を、平成31年度以後も継続すること。
- (東京都知事あて)

#### 主な掲載内容

議案等の審議結果一覧	2面
区政のここが聞きたい ～一般質問(要旨)～	3～6面
常任委員会Q&A	7面
視察来訪した議会一覧	8面